

探訪 ザカンパニー

628

メモ 所在地 津山市国分寺(086820155) △、業務用厨房の設計、施工、メンテナンス
66年▽設立 74年▽資本金 1千万円▽事業 従業員 24人(パート含む)
業内容 住宅、ホテル、集合住宅のリフォーム

(津山市)



河本義登社長

住宅やホテルのリフォーム、業務用厨房の設計施工を手掛ける。中でも、カビ対策と解体工事を伴わない浴室の再生手法で業界をリードする。

「健康的な住環境をつくるため、水回りの技術向上に努めてきた。浴室のカビ対策と再生を一貫してできる業者は全国でも珍しい」と河本義登社長(59)は胸を張る。

河本社長の義父・内田光教会長(85)が、津山市船頭町で1966年に創業し、72年に現在地に移った。家庭用流し台や風呂、ガス器具の販売店としてスタートし、工務店などへの卸売りが中心だったが、83年ごろ住宅リフォームに参入。PRのため屋台や物販で楽しんでもらう「タカラ産業まつり(現・新春タカラ大カーニバル)」を始めた。

88年に入社した河本社長はリフォーム事業に力を入れ、2001年の社長就任後は、季節ごとの相談会や愛犬家向けフェアを新たに始めて認知度を高め、施工力を磨いてきた。

ホテルなどにも受注を広げ、関連事業を売り上げの8割を占める主力に育てた。

今後は、FRS工法の加盟社を全都道府県に広げるとともに、住宅リフォームの営業エリアを作州地域以外に拡大するのが目標。河本社長は「1軒ずつ事情が違う改修にオーダーメイドで応え、快適な暮らしの役に立ちたい」と話す。



キッチンや洗面台などをそろえたタカラ産業のショールーム

浴室 カビ対策と再生一貫

「世の中には『変わるもの』こそ、社の内外を問わず、言葉を継ぎ、山陽新幹線の岡山開

知的財産活用

元日清食品ホールディングス知的財産部長で、新潟食料農業大の加藤正樹客員教授が「日本が生んだ世界食インスタンダード」をテーマに、11日、岡山特許庁と中国経済産業局は11日午後0時15分から、企業経営者や自治体関係者を対象にした催し「知財のミカタ」を巡り特許庁in岡山」を岡山市北区下石井のビュアリティまきびで開く。

宮城、山形の食PR

岡山高島屋(岡山市北区本町)で4、10日、金融記者クラブ(同厚に開かれる物産展「食生町」を訪れて魅力の宮城・山形展」のPR紹介した。

宮城、山形両県の計28社が400種類を販売。宮城からは牛タン弁当(1458円)、カキのオリーフオイル漬(1404円)、ずんだ餅(1404円)など。

山形県ブランド米をPRする「つや姫レディ」の高柳彩也香さん(30)は「弁当からスイーツまで幅広く取りそろえた。東北の食の奥深さを楽しんで」と呼び掛けた。

時間は午前10時〜午後7時(10日は同4時まで)。(岸本渉)

「食の宮城・山形展」をPRする高柳さん(中央)

タカラ産業

同工法の研究会を15年に立ち上げ、全国展開を開始。現在、27都府県の37社が加盟する。2年前には素材の質感を変えず、通気性も保つ防カビ剤をライ

評伝

廣榮堂会長 武田修一さん (11月24日死去、88歳)



「人生を語る」の取材で半生を振り返る武田修一さん(2009年3月)

岡山銘菓の「きび団子」をた印象深い言葉である。15土産物として世に広めた老舗0年を超える社業を引き継ぎ、和菓子メーカーの4代目は、子や孫に伝えるに当たって「岡山財界の意見番」とも心掛けてきたのはこの不易流行の理念だろう。だから銀行マンの時代から結婚後に家を継ぎ、山陽新幹線の岡山開

この地で商売を続けてきた桃太郎に扮して店頭に立っただけのことへの感謝と報恩の心思い出などが目に浮かぶようです」と。

戦火の青春時代、剣道と経済学の勉強に明け暮れた終戦直後の大学時代、高度経済成長の工場の雑談も大いに勉強になった。

尊敬する女性是谁ですか？この質問に3年前亡くなった元ノートルダム清心学園理事長の渡辺和子さんと、今年10月に死去した元国連難民高等弁務官の緒方貞子さんの名前を挙げた時の、少し照れた表情が忘れられない。

多感な青春期に戦争を経験した同世代で、相通じるものがあったのだろう。昭和がまた一つ、遠くなった。心より哀悼を捧げます。(国定啓人)

不易流行の理念貫く

と「変えてはいけないもの」うべきことはい、やるべきがある。目に見えるものは、これは率先垂範でやって必ず変わっていくが、一番大切なものは、実は目に見えないものの中に隠れている。

10年前、本面に連載した「人生を語る」の取材の際に伺ったのは、武田修一さん(11月24日死去、88歳)の取材の際に伺った。

災害時調査にドローン活用 広島・府中町とエネコム協定 情報通信のエネルギー・コミュニケーションズ(エネコム、広島市中区)は、広島県府中町と小型無人機ドローンを災害時の調査に使う協定を結んだ。両者ともドローン関連の協定は初めてで、被災状況の素早い把握につながる。昨年の西日本豪雨を踏まえ、町側が呼び掛けた。

大規模な地震や風水害が起きた際、町がエネコムに調査を依頼する。エネコムは車や人の出入りが難しくなった被災地を空から撮影してデータを提供している。山間部で救助用ロープを張る手伝いもする。

エネコムは4年前、ドローンの代理店販売を始めた。自社でも約20台を保有して操作できる人材を増やしている。

岡山市の老舗和菓子メーカー「廣榮堂」会長で岡山経済同友会代表幹事などを務めた武田修一さんが11月24日に心不全のため88歳で亡くなった。岡山銘菓「きび団子」のトップメーカーに発展させ、地域振興にも尽くした武田さんの死去が明らかに。岡山市内の業の振興や県全体の経済団体トップらから惜

岡山経済団体トップら惜しむ声

先進的考え「食品」支援「才気煥発」

10〜16年には県中小企業団体中央会長も務めた。後任の屋田真三会長は「菓子メーカーの知見を生かし、食品製造業者の総合支援事業を立ち上げるなど功績は大きい」。県菓子工業組合の宮武孝

「人生を語る」の取材で半生を振り返る武田修一さん(2009年3月)

探訪 ザ・カンパニー

628

メモ
所在地 津山市国分寺(08-68860155) ▽創業 1966年 ▽設立 74年 ▽資本金 1千万円 ▽事業内容 住宅、ホテル、集合住宅のリノベーションに加えた。
ム、業務用厨房の設計、施工、メンテナンス
▽売上高 約6億円(2019年8月期) ▽従業員 24人(パート含む)

(津山市)

タカラ産業

住宅やホテルのリフォーム、業務用厨房の設計施工を手掛ける。中でも、カビ対策と解体工事を伴わない浴室の再生手法で業界をリードする。

浴槽を取り換えられない浴室再生工事を1996年に始め、2006年に「REVIVE」として商標登録。翌年から取り組む「FRS工法」は健康や環境に配慮し、食品添加物に使用されるのと同じ成分の液剤を開発してカビを根元から除去する。

同工法の研究会を15年に立ち上げ、全国展開を開始。現在、27都府県の37社が加盟する。2年前には素材の質感を変えず、通気性も保つ防カビ剤をライ



河本義登社長



キッチンや洗面台などをそろえたタカラ産業のショールーム

「健康的な住環境をつくるため、水回りの技術向上に努めてきた。浴室のカビ対策と再生を一貫してできる業者は全国でも珍しい」と河本義登社長(59)は胸を張る。

河本社長の義父・内田光教会長(85)が、津山市船頭町で1966年に創業し、72年に現在に移った。家庭用流し台や風呂、ガス器具の販売店としてスタートし、工務店などへの卸売りが中心だったが、83年ごろ住宅リフ

浴室 カビ対策と再生一貫

リフォームに参入。PRのため屋台や物販で楽しんでもらう「タカラ産業まつり(現・新春タカラ大カーニバル)」を始めた。

88年に入社した河本社長はリフォーム事業に力を入れ、2001年の社長就任後は、季節ごとの相談会や愛犬家向けフェアを新たに始めて認知度を高め、施工力を磨いてきた。

ホテルなどにも受注を広げ、関連事業を売り上げの8割を占める主力に育てた。

今後は、FRS工法の加盟社を全都道府県に広げるとともに、住宅リフォームの営業エリアを作州地域以外に拡大するのが目標。河本社長は「1軒ずつ事情が違ふ改修にオーダーメイドで応え、快適な暮らしの役に立ちたい」と話す。

(有国由花) 随時掲載

評伝

廣榮堂会長 武田修一さん(11月24日死去、88歳)

岡山銘菓の「きび団子」をた印象深い言葉である。15土産物として世に広めた老舗0年を超える社業を引き継ぎ、子や孫に伝えるに当たった。岡山財界の「意見番」とも言える人だった。

「世の中には『変わるもの』こそ、社の内外を問わず、言葉を継ぎ、山陽新幹線の岡山開

不易流行の理念貫く

と『変えてはいけないもの』うべきことは言い、やるべき業での特需…。執務室のソファがある。目に見えるものは、これは率先垂範でやってきに身を沈め、よどみなくしゃべる姿が、今も脳裏に焼き付いて

この地で商売を続けさせていただけのことへの感謝と報恩の心です。」と。



「食の宮城・山形」高柳さん(中央)

宮城、山

特許庁と中国の業局は11日午後、分府から、企業経営自治体関係者らに催した「知的財産」を岡山市石井のピュアレッジで開く。

知的財産活
テーマに催
11日、

タカラ産業

(津山市)



メモ
所在地 津山市国分寺(0868260155)▽創業 1966年▽設立 74年▽資本金 1千万円▽事業内容 住宅、ホテル、集合住宅のリノベーションに加え、健康的な住環境をつくるため、水回りの技術向上に努めてきた。浴室のカビ対策と再生を一貫してできる業者は全国でも珍しい。と河本義登社長(59)は胸を張る。河本社長の義父・内田光教会長(85)が、津山市船頭町で1966年に創業し、72年に現在に移った。家庭用流し台や風呂、ガス器具の販売店としてスタートし、工務店などへの卸売りが中心だったが、83年ごろ住宅リノベーションに参入。PRのため屋台や物販で楽しんでもらう「タカラ産業まつり(現・新春タカラ大カーニバル)」を始めた。88年に入社した河本社長はリフォーム事業に力を入れ、2001年の社長就任後は、季節ごとの相談会や愛犬家向けフェアを新たに始めて認知度を高め、施工力を磨いてきた。ホテルなどにも受注を広げ、関連事業を売り上げの8割を占める主力に育てた。今後は、FRS工法の加盟社を全都道府県に広げるとともに、住宅リフォームの営業エリアを作州地域以外に拡大するのが目標。河本社長は「1軒ずつ事情が違ふ改修にオーダーメイドで対応し、



河本義登社長

「健康的な住環境をつくるため、水回りの技術向上に努めてきた。浴室のカビ対策と再生を一貫してできる業者は全国でも珍しい。と河本義登社長(59)は胸を張る。河本社長の義父・内田光教会長(85)が、津山市船頭町で1966年に創業し、72年に現在に移った。家庭用流し台や風呂、ガス器具の販売店としてスタートし、工務店などへの卸売りが中心だったが、83年ごろ住宅リノ

浴室再生工事を1996年に始め、2006年に「REVIVE」として商標登録。翌年から取り組む「FRS工法」は健康や環境に配慮し、食品添加物に使用されるのと同じ成分の液剤を開発してカビを根元から除去する。同工法の研究会を15年に立ち上げ、全国展開を期す。見玉、7部



浴室 カビ対策と再生一貫

「健康的な住環境をつくるため、水回りの技術向上に努めてきた。浴室のカビ対策と再生を一貫してできる業者は全国でも珍しい。と河本義登社長(59)は胸を張る。河本社長の義父・内田光教会長(85)が、津山市船頭町で1966年に創業し、72年に現在に移った。家庭用流し台や風呂、ガス器具の販売店としてスタートし、工務店などへの卸売りが中心だったが、83年ごろ住宅リノ

「健康的な住環境をつくるため、水回りの技術向上に努めてきた。浴室のカビ対策と再生を一貫してできる業者は全国でも珍しい。と河本義登社長(59)は胸を張る。河本社長の義父・内田光教会長(85)が、津山市船頭町で1966年に創業し、72年に現在に移った。家庭用流し台や風呂、ガス器具の販売店としてスタートし、工務店などへの卸売りが中心だったが、83年ごろ住宅リノ



岡山 岡山高島屋(岡山市北区本町)で4~10日、金融記者クラブ(同厚)に開かれる物産展「食生町」を訪れて魅力を紹介した。

宮城、山形の食PR

岡山 岡山高島屋(岡山市北区本町)で4~10日、金融記者クラブ(同厚)に開かれる物産展「食生町」を訪れて魅力を紹介した。

宮城、山形の計28社が40種類を販売。宮城からは牛タン弁当(1458円)、

知的財産活用
テーマに催し
11日、岡山
特許庁と中国経済産業局は11日午後0時15分から、企業経営者や自治体関係者を対象にした催し「知財のミカタ」を巡回特許庁in岡山」を岡山市北区下石井のビューアリティまきびで開く。

元日清食品ホールディングス知的財産部長で、新潟食料農業大の加藤正樹客員教授が「日本が生んだ世界食」をテーマにした講演。企業ブランディング(価値あるブランドの構築)をテーマにした両備グループの小嶋光信代表の講話やセミナー